

位相幾何学ゼミでの注意事項

担当：佐藤 隆夫

過去の経験を踏まえ、令和3年度から以下のような方針で卒研ゼミを運営します。

(1) 輪講の進め方

- 予め担当箇所を重複なく決め、自分が担当する部分を発表する。自分が担当する部分以外の部分は各自予習しておくこと。
- 科目の性質上、教員には極力質問せず独力で真面目に取り組むこと。
- 発表時間は厳守すること。時間が過ぎた場合は直ちに降壇すること。
- 年間を通じてゼミの発表回数が等しくなるように調整する。

(2) 出欠・遅刻について

- 発表時以外も必ず出席すること。他人の発表も聴講し、積極的に質問すること。
- 無断欠席は3回で不合格、すなわち留年とする。2回目で警告を行う。
- 自己の責めによる理由で30分遅刻してきたものは無断欠席と同様の対処をする。
- 発表が予定されていた回に発表しなかった場合は無断欠席と同様の対処をする。
- 病気・怪我・事故・忌引等に関しては、それをなるべく客観的に証明できるものを提示すること。後日でも構わない。
- 教育実習、介護等体験、教員採用試験、大学院入試、就職の面接等とゼミの日程が重なった場合はその旨申し出ること。発表回数は前後に振り分け調整する。
- 教員採用試験、院試、期末試験などの勉強や、自己都合によるゼミの欠席・延期は一切認めない。無断欠席と同様の対処をする。

(3) ゼミの追加・補講など

- ゼミ日程・時間の変更、追加、及び補講等は一切行わない。
- 大学院入試を目的とした特別な対策、指導、補講、添削等は一切行わない。独力で頑張ること。

(4) 大学院学内進学（数学専攻）に関して

- 本学の大学院進学のみを希望する学生のうち、成績優秀、コミュニケーション能力等に問題なしと教員が判断した場合に、教員が学生を推薦出来る制度であり、学生が受験できる権利を有している類のものではない。
- 学内推薦が確定したら、教員採用試験や他の大学の院試に合格したとしても本学の大学院に進学しなければならない。

以上